

令和2年度第1回 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 令和2年8月31日（月） 10:00～11:30

2 場所 中央公民館 集会室

3 出席委員

山本幸子委員、江津和也委員、松本聡委員、池田京子委員、和田多恵子委員、渡部郷勝委員、高橋良子委員、石井幸子委員、保高知子委員、上内有里委員、土田麻子委員、藤崎万裕委員

4 事務局

今井こども支援課長、大伯幼児保育課長、木村こども総合相談室長、高橋子育て支援センター所長、佐藤こども発達センター所長、館岡健康増進課主幹、荒川幼児保育課主幹、宇賀道野辺保育園長、星こども支援課長補佐、白木こども総合相談室長補佐、松沼幼児保育課副主幹、瀧主事（こども支援課）

5 記録 瀧

6 傍聴者 無し

7 議題

- (1) 第二期子ども・子育て支援事業計画について
- (2) 令和元年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

8 配布資料

次第

配布資料一覧

資料1 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議委員名簿

資料2 令和元年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【幼児期における教育・保育（子どものための教育・保育給付）】

資料3 令和元年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【地域子ども・子育て支援事業（子ども・子育て支援法第59条の規定に

基づく13事業)】

資料4 令和元年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【その他関連施策について】

その他資料 鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画

鎌ケ谷市第二期子ども・子育て支援事業計画

9 会議内容

《議題》

(1) 第二期子ども・子育て支援事業計画について

ア 事務局が鎌ケ谷市第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき説明

イ 質疑応答

委員 人口推移には令和2年から5年分載っていますが、新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言を受けて、今後がどうなるのかを予測したものでしょうか。

事務局 計画は、新型コロナウイルス感染症が発生する前に検討したものであるため、新型コロナウイルスについては加味しておりません。6ページ上側の表が、5歳以下の就学前児童数の推移となっており、例年減少する見込みで、計画を策定しております。

委員 63ページによると、令和3年度においては、0歳から5歳までの量の確保が16人不足しているとなっています。保育園を整備する予定であるようですが、16人のために実施する必要があるのでしょうか。また、62ページの教育・保育の量の見込み・確保策によれば、令和6年度には幼稚園の空きが1,617人と出ているため、保育園は、0～2歳の確保策が必要となるのではないのでしょうか。さらに、保育園をたくさん整備して、保育士の確保は行えるのでしょうか。保育園が必要な場所・保育の質をもう一度話し合っていたきたいです。なお、幼稚園ではお預かり保育を始めており、3歳以上は預かることができますので、うまく活用していただきながら教育を支えていきたいというのが幼稚園の考えであります。0～2歳の確保策が足りない中、これからの保育園運営をどのようにしていきたいのかを伺いたいです。

事務局 63ページについては、各年度4月1日時点の見込み量分の確保策であり、16名しか不足していないということではありません。平成27年度から令和2年度にかけて、4月の年度当初において待機児童0を達

成しておりますが、例年6月以降には待機児童が発生している状況です。今年度は5月に発生しており、これからは少しでも多くの方に入っていただくべく、年度途中も含めて入れるよう計画していることから、保育園を整備するものです。また、併せて保育士の確保についても十分行えるよう努めて参ります

委員 保育園に入りたい人を見込んで、来年・再来年に保育園を整備するということですね。このまま子どもの数が推移していくのかどうか、幼稚園は不安であるということですので、その説明をしてほしいです。

事務局 幼稚園の定員については、余裕がありますので、幼稚園と話をしながら、施設整備と共に既存施設の活用を進めて参ります。

委員 1年1年の状況を踏まえて、幼稚園・保育園それぞれの意見を取りまとめて計画を見直してほしいです。どこに保育園が足りないのか、0～2歳が足りないのかと聞きたいです。

事務局 0～2歳が足りていないのかという議論が策定時に行われました。小規模保育事業所等を作るのかという議論もありました。現在、小規模保育事業所を10か所、駅の近くに作りましたが、小規模保育事業所を整備しても、3歳からの受け皿の確保が必要であり、定員が20名以上の保育園が必要と考え計画を策定いたしました。

委員 小さい保育所や間借りしている保育所だけでなく、きちんとした建物も必要と考えているということですが、ほかの意見を聞きながら、今後行政も進めていくようにお願いします。

事務局 わかりました。

(2) 令和元年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

ア 「幼児期における教育・保育」の進捗状況

(ア) 事務局が資料2に基づき説明

(イ) 質疑応答

無し

イ 「地域子ども・子育て支援事業」の進捗状況

(ア) 事務局が資料3に基づき、事業ごとに説明

(イ) 質疑応答

- ・ 事業③ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について

委員 第二期子ども・子育て支援事業計画では、放課後に学校教室を暫定的に使用するなどの対応をするとありますが、いつぐらいから始まる予定なのでしょうか。また、令和2年度から全部委託化したということで、災害時対応が課題と考えていますが、事業者、学校、市役所との調整が不十分であり、今後連携が必要と考えています。

事務局 児童数は、令和3年度までは大きく伸びる予定ですが、それ以降は減少するという計画です。確保策、すなわち定員については、出席率が7割から8割程度であるというところから算出しております。とはいえ、夏休みなどは人数が増えるので、隣の教室を借りるなど、空き教室を借りたりして学校と協力していきたいという趣旨であります。

災害対応については、災害対応マニュアルを策定し、対応することとしています。スクールメールシステムを活用しながら、保護者対応し、学校と連携を図りながら進めてまいります。

委員 学校内に放課後児童クラブがあるので、学校に連絡すれば良いと思っている保護者がいるので、学校と放課後児童クラブは別組織であることを認識してもらいたいです。災害時にその区別が行われていないと、子どもは学校と放課後児童クラブを行ったり来たりすることとなるため、事業者と保護者の話し合いを毎年密にしてほしいです。

事務局 放課後児童クラブの運営については、委託事業者、保護者、学校、地域との連絡連携を図ってまいります。

- ・ 事業⑤ 乳児家庭全戸訪問事業について

委員 保健推進委員は何人いるのでしょうか。また、市の職員で構成されているのでしょうか。

事務局 30名で、市民の方をお願いしております。

委員 質（サービス）の向上策のところについて、課題部分に保健推進員が活動の意義を理解しとありますが、現在、意義などが理解できないという例が散見されたのでしょうか。また、内容の充実とありますが、具体的にはどのような案のことであるのでしょうか。

事務局 保健推進員には、経験年数が数年から20年以上の人がいます。活動の意義を理解していないという意味ではなく、時代とともにニーズや課題に変化があるため、最近の情報を保健推進員に提供するなどの連携を図っています。研修などを通して、質の向上に努めて参ります。

ウ 「その他関連施策」の進捗状況

(ア) 事務局が資料4に基づき説明

(イ) 質疑応答

委員 鎌ヶ谷市では、幼児虐待で大きな問題は起きていますか？

事務局 対応件数は例年増加傾向にありますが、他市のような大きな事件は起きておりません。児童虐待防止対策会議などを通して、関係機関との連携・体制強化を図るなどの対応をしております。

10 その他

事務局より、次回会議の開催予定について説明した。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

令和2年11月4日

氏 名 渡部 郷勝 _____

氏 名 高橋 良子 _____